

事業実績報告書

講座番号	B-17	講座名	レイチェル・カーソンの思いをつないで
記載日	2024/8/15	団体名・企業名	レイチェル・カーソン日本協会東海フォーラム

〈講座全体の概要〉(300字程度)

レイチェル・カーソン没後60年、現状の地球環境を見ると、カーソンの思いをつなぎ、カーソンが鳴らした警鐘を引き継いでいくことの大切さを痛感している。今回の講座では、新美南吉記念館の企画展でカーソンの「センス・オブ・ワンダー」をとり上げていただいたご縁で、南吉記念館の館長による講座を実施した。また、没後60年という節目の年にあたり、レイチェル・カーソン日本協会発足から関わっている関西フォーラム代表の講座も行った。SDGsのカードゲームでは、脱炭素の難しさを学んだ。



※写真1の説明

新美南吉記念館館長の講座

※写真2の説明

SDGsカードゲーム

〈企画・運営者の声(感想)〉(350字程度)

今回は、新美南吉記念館でカーソンのセンス・オブ・ワンダーをとり上げた企画展を行っている期間中に館長による講座を実施した。今まで参加されなかった受講生が数名参加して下さった。また、没後60年の機会にカーソンを学び直し、現状の環境問題についても学ぶ良い機会となった。カーソンを語り継ぐことの意義を強く感じる事ができた講座となった。

〈受講者の声(実感した反応及びアンケートより)〉(3~5点、計350字程度)

- ・心に響く素晴らしい講義をありがとうございました。レイチェル・カーソン、南吉、宮沢賢治などのセンス・オブ・ワンダーと私の幼いころ田舎で感じていた私なりのセンス・オブ・ワンダーを思い出しながら懐かしく拝聴させていただきました。
- ・南吉とカーソンのセンス・オブ・ワンダーの共通点が理解できました。
- ・カーソンの業績から今日の環境問題まで含めたお話をうかがうことが出来ました。課題は、我々がこれからどう立ち向かうかだと感じた。
- ・楽しくゲームに参加できました。